

2013年7月27日

群馬大学アナログ集積回路研究会 随想

江海の能く百谷の王たる所以の者は、
その善く之に下るを以て、故に能く百谷の王なり。(老子)
長江や海が河川の王であるのは 十分に低いところにあるからである。
だからこそ多くの河川が合流してくる。



群馬大学アナログ集積回路研究会は約十年前に正式発足以来、220回を超える講演会開催をしてきています。群馬大学名誉教授・(財)群馬大学科学技術振興会 前理事長 大谷杉郎（おおたに・すぎお）先生がその精神的な原動力になっています。

筆者が1997年に群馬大学に着任しますと、大谷杉郎先生より、企業人向けに群馬大学科学技術振興会での講演を依頼されました。その講演はあまりうまくなかったのですが、それでも私と分野が近い企業の方から声をかけてもらい、共同研究に進展しました。そのことを群馬大学での賀詞交歓会にて大谷先生にお話しすると、「それはよかった。小林君のキャリアだな。良く面倒をみてやってください。」と言われたのが、「なんて素晴らしい言葉だろう」と十数年たった今でも記憶に残っています。

大谷先生とは学問分野は異なり、その研究業績は存じ上げていないのですが、また接点もわずかでしたが、それでも時折お会いしますと、そのお人柄は非常に素晴らしく思いました。「常に人に何かを与えている」という印象を持っていました。

2003年10月のアナログ集積回路研究会の発足式でご挨拶をいただき、「志が高い」とのお言葉を賜ったのを記憶しております。お会いすると「小林君、よくやっているね」と穏やかな話し方で言葉をかけてくださったのが非常に励みになっています。

2010年7月に他界されました大谷先生に、謹んで哀悼の意と感謝の意を表します。ご葬儀に参列させていただきましたが、ご焼香後 心が落ち着き「葬儀とは亡くなった方のためとともに、生きている者のために行うのか」と思いました。数百人もの参列者があり、あらためて多くの人たちに慕われていたということがわかりました。

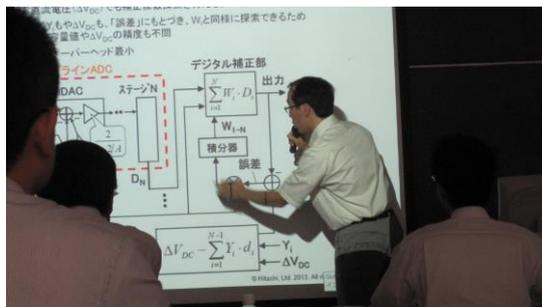
第223回群馬大学アナログ集積回路研究会

題目：「次世代医療診断向けデジタルアシスト高性能 A/D 変換技術」

講師：大島俊先生（日立製作所 中央研究所）

日時：2013年7月19日（金） 15:00-17:00

場所：群馬大学工学部（桐生キャンパス）



第224回群馬大学アナログ集積回路研究会

題目：「スイッチング電源回路の基礎」

講師：小堀康功先生（群馬大学 客員教授、小山高専 教授）

日時：2013年7月23日（火） 14:20-17:30

場所：群馬大学工学部（桐生キャンパス）



第225回群馬大学アナログ集積回路研究会

題目：「LSI テスト技術の基礎(テスト生成手法)と動向(VTS2013 報告)」

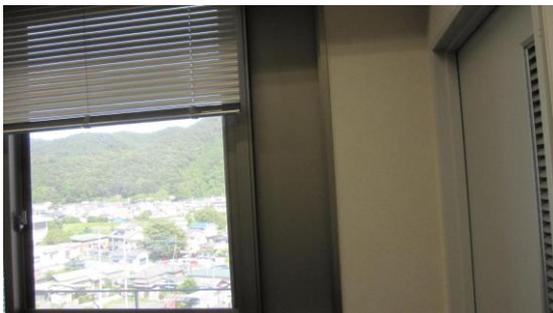
Without testing, selling or using an IC chip is a gamble.

講師：畠山一実先生（群馬大学 客員教授、奈良先端科学技術大学院大学 特任教授）

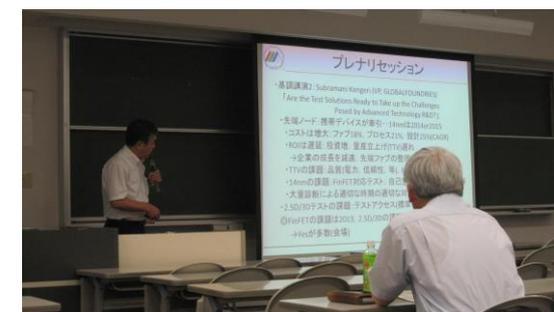
日時：2013年7月25日（木） 13:00-16:00



講演会 開始前



講演会 開催中



文責・写真

群馬大学 理工学研究院 電子情報部門
情報通信システム第2研究室